

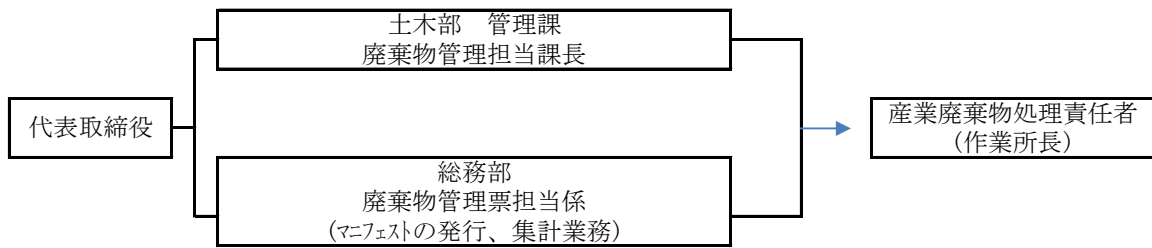
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 5 月 10 日	
宮崎県知事	河野俊嗣 殿
提出者	
住 所 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井179番地2	
氏 名 木田建設株式会社	
代表取締役 木田壮一郎	
電話番号 (0982) 72-4171	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	木田建設株式会社
事業場の所在地	宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井179番地2
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	59,900万円
③従業員数	27人
④産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none">・ 構造物取壊工事 がれき類(コンクリート塊)→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化・ 舗装工事 がれき類(アスファルト・コンクリート塊)→再生処理業者に委託して、再生骨材として再資源化・ 建築解体工事 廃石膏ボード、廃プラスチック、金属くず等→破砕、圧縮し、再資源化・ 木くず→再生処理業者に委託してチップ化し、植生基盤材として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R 4 年度) 実績】 (t)						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	排出量	2097.81	1176.97	327.02	12.335	26.03	171.996
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	石綿含有産廃
	排出量	9.15	1.92	3.16	22.103	0.2	3.38
	産業廃棄物の種類	発砲スチロール	水銀使用製品				合計
	排出量	0.06	0.414				3852.548
(これまでに実施した取組)							
全て処理業者へ委託							
①計画	【目標】 (t)						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	排出量	300.00	1000.00	200.00	5.00	10.00	2.00
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	石綿含有産廃
	排出量	2.00	1.00	1.00	2.00	0.10	0.00
	産業廃棄物の種類	発砲スチロール	水銀使用製品				合計
	排出量	0.00	0.00				1523.10
(今後実施する予定の取組) 特になし							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類(コンクリート塊・アスファルト)、木くずは分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記に加え、石膏ボード、金属くず、紙くずについても分別を実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	合計
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量						0
	(これまで実施した取組)						
特に実施していない							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	合計
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						0
	(今後実施する予定の取組)						
発注者の指示に基づき、処理業者に委託する。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	木くず・廃プラスチック等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	木くず・廃プラスチック等
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	(これまで実施した取組)		
特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	木くず・廃プラスチック等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	産業廃棄物の種類	コンクリート・アスファルト	木くず・廃プラスチック等
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
特になし			

(第4面)

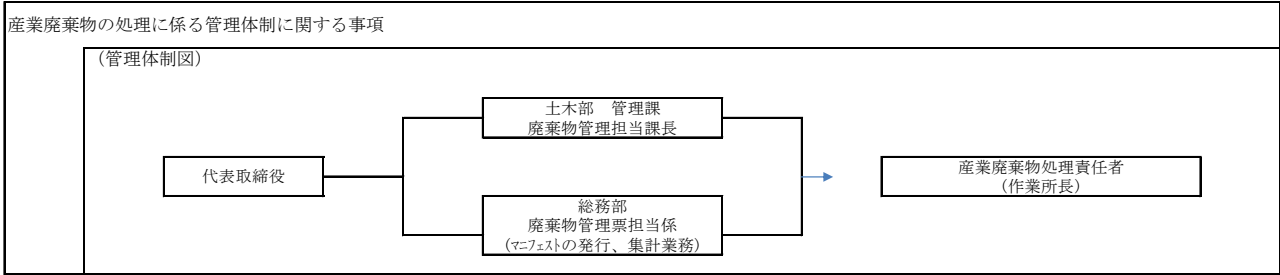
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						0
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						0
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】 (t)						
	産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
	全処理委託量	2097.81	1176.97	327.02	12.335	26.03	171.996
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	石綿含有産廃
	全処理委託量	9.15	1.92	3.16	22.103	0.2	3.38
	産業廃棄物の種類	発砲スチロール	水銀使用製品				合計
	全処理委託量	0.06	0.414				3852.548
	全処理委託量				3852.548 t		
	優良認定処理業者への処理委託量				0 t		
	再生利用業者への処理委託量				0 t		
	認定熱回収業者への処理委託量				0 t		
	定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				0 t		
	(これまでに実施した取組) 委託契約基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書類面による契約を実施している。						

【目標】						
産業廃棄物の種類	コンクリート	アスファルト	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	金属くず
排出量	300.00	1000.00	200.00	5.00	10.00	2.00
産業廃棄物の種類	その他がれき類	紙くず	廃石膏ボード	混合(安定型)	建設汚泥	石綿含有産廃
排出量	2.00	1.00	1.00	2.00	0.10	0.00
産業廃棄物の種類	発砲スチロール	水銀使用製品				合計
排出量	0.00	0.00				1523.10
②計画	全処理委託量			1523.10 t		
	優良認定処理業者への処理委託量			0 t		
	再生利用業者への処理委託量			0 t		
	認定熱回収業者への処理委託量			0 t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量			0 t		
(今後実施する予定の取組)						
委託処理業者には、定期的に現地確認する。						
※事務処理欄						



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R 3 年度) 実績】 詳細別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート塊	木くず・廃プラスチック等
	排出量	2,287 t	178 t
	(これまでに実施した取組)		
	全て処理業者へ委託		
②計画	【目標】 詳細別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート塊	木くず・廃プラスチック等
	排出量	1,900 t	154 t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類(コンクリート塊・アスファルト)、木くずは分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記に加え、石膏ボード、金属くず、紙くずについても分別を実施。